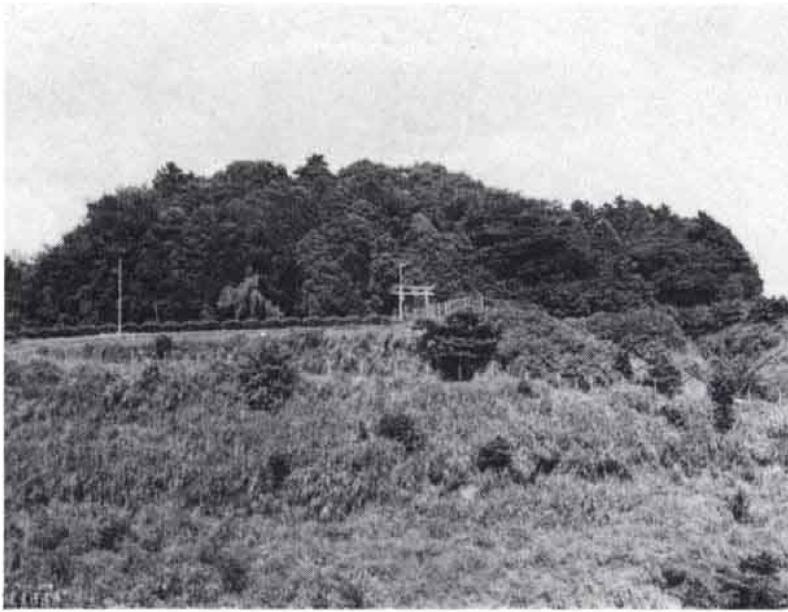


と ネットワーク



△この地方最大の浅間古墳



緑と文化の調和した

心ふれあうまち

須津

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。11月は元吉原、12月は浮島地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

須津地区は浮島沼の北、愛鷹山南麓に古くから開けた地区です。増川にある国指定史跡「浅間古墳」はこの地方最大の規模で、五世紀の中ごろ、駿河のクニの国王の墓として築かれたと推定されます。また、根方街道は古代の東海道として交通の要衝でもありました。地区は典型的な農村地域で、浮島沼を開墾して今日の広大な水田を作りあげました。

現在の根方街道沿いは、人口密集地で带状に人家が並んでいます。地区の東名より北は、ミカン畑の広がる丘陵地で、須津川沿いに愛鷹山登山道が通り、上流には大棚の滝やキャンプ場、大棚荘があるレクリエーション地域です。

地区南部は水田地帯ですが、昭和五十三年、県道須津・田子浦線西側に浮島工業団地ができました。沼川西岸は今でも浮島沼の景観の残る地で、アシ・ヨシが茂り、野鳥の楽園となっています。

人口密集地での道路交通等の生活環境問題、南北の自然環境の保全等が地区の課題です。



スポーツマン一家

中里町二 中村彰志さん一家

スポーツの秋。ふだん運動をしない人も、運動する機会がふえる時期です。今回おじやましたのはスポーツマン一家の中村彰志さんのお宅。家族全員、運動神経抜群です。さあ皆さんも、レッツスポーツ。

世帯主の中村彰志さんは、岩松中学校の体育の先生。陸上部の顧問をしているだけあって色はマツ黒。学生時代十種競技で日本選手権を制したという馬力は、今も健在です。

奥さんの佑子さんは、現在原田小学校の先生。かつてはやはり中学校の体育の先生をしていました。中学・高校時代はソフトボールの選手として活躍しました。

そんなお二人に授かった子供たちは、まさに親の子。長男の大輔君(須津中三年)は、夏まで野球部の四番でファースト。中体連で須津中を市内で三位に導いた中心選手です。

その一方で、先生に勧められ陸上競技にも挑戦。三種競技では県の通信陸上大会で優勝、八月に三重県で行われた全国大会で二十二位に食い込みました。



△前列左から大輔君、彰志さん、彰子さん 後列左から佑子さん、圭介君

次男の圭介君(須津中二年)は、大輔君同様、野球部に所属。はにかみ屋さんながらも内に秘めたファイトはお兄ちゃんに負けません。家族のにぎやかし役は、末っ子の彰子ちゃん(須津小三年)。やはり走るのが得意で、駅伝の選手です。

ですから、中村さんちのレクリエーションは、お弁当持って野球や陸上の応援がほとんどです。スポーツマンの一家は、やはり健康的ですね。



第21回 富士市畜産共進会で市長賞を受賞

望月克巳さん 久沢北(40歳)

「将来も安心ですね」と尋ねると、思わず目元がほころびました。...



乳牛・肉牛・種豚の優秀さを競うことで、畜産経営の発展を期する畜産共進会。...

飼っています。朝六時に起きて、えさをやり、午前中の掃除、夕方のえさをやる作業には盆も正月もありません。...

まちか

我がまちを語る



鈴木富男さん

中里町3(83歳)

親しみのわく根方言葉

私は須津に生まれ、須津に育つて八十年。昔の須津はのどかなものでした。...

つたものです。地区の人は純朴で、「ずら」にやあ」の根方言葉をしゃべり、親しみがありません。...



ナシ同様、水々しいありのみの会、皆さん



墨絵は心の表現 村松和さん(中里町三)



一輪の名ドライバー 藤科雅彦さん(中里曙町)

あの人・この人・こんなこと

休日はナナハンのバイクでツーリングを楽しむ藤科さん。もちろん暴走族なんかじゃありません。...

墨の濃淡で幽玄の世界を表現する墨絵。二十四歳のとき疎開先の禅寺で墨絵と出会った村松さんは、以後、仕事のかたわら練習を続けてきました。...

秋の味覚ナシ。中里、神谷、増川、川尻の農家二十四軒が集団栽培をしている「富士三水園」に、九月中旬までおいしいナシがたわわになりました。...

